

## 令和7年度山梨大学教育学部附属中学校外部評価書

令和8年3月2日(月)

令和7年度学校関係者評価委員会 作成

### I 目標の達成状況に対する意見

・昨年度の課題であった「生徒指導」における「いじめ防止に向けての取り組み」と「ネットトラブル防止に向けての取り組み」に関しては、いじめ対策委員会を職員会議内で設置し、全職員による情報共有及び指導方針の確認を行ったり、少年対策官による情報モラル講演会や甲府警察署生活安全課の警察官による講義を催したりするなど、専門機関と連携してトラブル防止に関する理解を深める取り組みを行っていることが窺うことができた。

また、スクールカウンセラーを男性・女性と複数設置することで、生徒が相談しやすい体制を整えていることも認識することができた。

### II 取り組みの状況に対する意見

・学校側による自己評価と保護者アンケートの結果から、「生徒指導」における「登下校マナーの徹底」に関する数値が低いことが分かる。本校は、公共交通機関を利用する生徒や自転車を利用する生徒が他校よりも多くいる。生徒が他の利用者の方とともに安全に規律正しく登下校することができるように、場に応じたマナーの徹底や当事者意識を高める指導を行い、附属中生としての品性を磨いてほしい。

・「いじめ防止に向けての取り組み」に関しては、早期発見はもちろんのこと、日常の学校生活においても、心を育てる教育や他者をいたわる教育などの「人権教育」を大切にほしい。また、トラブルが発生した場合には、被害者生徒とその保護者は元より、加害者生徒とその保護者に対しても心に落ちるまで話し合いを重ねてほしい。さらに、友人関係や学習面、家庭における悩みを抱えている生徒が気軽にカウンセリングを受けることができるような取り組みや体制を築いてほしい。

### III 改善方法に対する意見

・評価項目ごとに保護者アンケートの数値と学校側の自己評価の数値の高低が、合致したりしなかったりするので、その差はどこから生まれてきたのかを分析し、高低の差が生まれないように努めてほしい。

### IV その他

・今年度も保護者アンケートの回答率が90%を超え、評価項目に対して分からない(評価できない)との回答も減少したことから、保護者への情報発信を効果的に行うことができたと感じる。引き続き多くの保護者に考えや意見を述べていただき、学校活動が充実したものになるようにしてほしい。

